No.２３１
2015年 2月号

図書館だより

鹿嶋市立中央図書館　TEL：0299-83-2510
大野分館　TEL：0299-69-1114
http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/

役立つ！ 来て・見て・使って！ かしまの情報コーナー

図書館では、市の情報のコーナーを設置しています。鹿嶋市の観光案内、催し物、新しい地図など、鹿嶋での生活に必要な情報が集まっています。（サッカーの市民割引券があることも！）

鹿嶋市について知りたいことがあれば、是非お立ち寄りください。

また、近くには鹿行地域の求職情報、茨城県の催し物の情報コーナーもございます。どうぞあわせてご利用ください。

２月

日	月	火	水	木	金	土
1 中央館 大野分館 / 中央館 11:00~ / 大野分館 14:00~	2 休	3	4	5	6	7 中央館 11:00~
8	9 休	10	11 建国記念の日	12	13	14 中央館 13:30~ / 大野分館 14:00~
15 中央館 10:30~	16 休	17	18 中央館 14:30~	19	20	21 中央館 11:00~ / 大野分館 11:00~
22	23 休	24	25	26	27 月末休館日 休	28 大型 / 中央館 13:30~ / 大野分館 14:00~

休 ＝ 中央館 大野分館とも休館
＝ 雑誌リサイクルの日
＝ かみしばい
＝ 子ども映画会 大野シネマ館
＝ おはなし会 読み聞かせの会
＝ 鹿嶋の民話
＝ 古典文学鑑賞講座

私のおすすめの一冊

『萩を揺らす雨』

吉永 南央　著（BF/913.6/ヨ）

文藝春秋　　出版

　50代に入った時、40代には感じなかった身体の「老い」を徐々に感じるようになりました。そんな時、この本に出会いました。主人公「お草さん」こと杉浦草（そう）は76歳。高齢にもかかわらず、地方にある紅雲町で和食器とコーヒー豆を商う「小蔵屋」を経営しています。コーヒーの無料試飲サービスがあるので、それを目当てに訪れる人も多く、店は朝から大忙し。常連たちとの会話を楽しみながら紅雲町で起きるちょっとした事件や揉め事を解決していくお草さん。周囲のみんなの悩みを放っておけないお草さんの行動の陰には、幼い息子を事故で失ったという悲しい過去が背景としてあるように思います。この「お草さん」のように高齢になっても周囲に気を配り、背筋をシャンと伸ばして生きていけたらいいなと思いました。なお、この本は現在「紅雲町珈琲屋こよみ」シリーズとして4作シリーズ化されています。それから、今春テレビでドラマ化される予定です。

（中央館　佐藤　由起子）

1．萩を揺らす雨【紅雲町ものがたり　改題】 2．その日まで
3．名もなき花の　4．糸切り

追悼　宮尾登美子

　激動の時代を生きた女性作家、宮尾登美子。
　一貫して「女性」をテーマに執筆をつづけ、自伝をはじめとして様々な作品を世に送り出しました。
　代表作を中心に作品を集めたコーナーを、カウンター前に展開しています。どうぞご覧下さい。

著者プロフィール

（1926 年 4 月 13 日～2014 年 12 月 30 日）
高知県高知市生まれ。
1972 年に自作小説『櫂』を自費出版、
後に同作で第九回太宰治賞を受賞。
【主な代表作】
・『一絃の琴』(第 80 回直木賞受賞)
・『天璋院篤姫』(大河ドラマ『篤姫』原作)
・『鬼龍院花子の生涯』
・『宮尾本　平家物語』『義経』(大河ドラマ『義経』原作)

新着図書のご案内

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの『**おすすめコーナー**』でも，毎週，**新刊案内**をお届けしています。是非，ご覧ください。

小説 『**オネスティ**』(F/913.6/イ)　石田 衣良　著

両親の不仲を見て育つ幼馴染のカイとミノリは、ある約束をする。それは、「お互い大好きだけど、恋愛も結婚もしない。どんな秘密も作らない。」というものだった。思春期を経た二人は約束を守り続け互いの秘密を共有してゆく。肉体関係を持たず、心と心の繋がりだけで寄り添う二人は、何処へたどり着くのか。

小説 『**絶対城先輩の妖怪学講座 5**』(BF/913.6/ミ) 峰守 ひろかず　著

人里離れた屋敷を訪れた絶対城と礼音を待っていたのは、清楚な美女・桜城紫だった。妖怪学談義に華を咲かせる二人に疎外感を覚えた礼音は屋敷を飛び出すが、そこへ不思議な雰囲気を持つ少年が声をかけてくる。シアンと名乗る少年は、礼音が大学へ戻った後も彼女の前に姿を現すようになる。その頃、紫の周りに不審な噂が出始めるのだが…。

新書 『**新・戦争論**』(S/304/イ)　池上 彰・佐藤 優　著

領土問題、民族・資源紛争、金融危機、テロ、感染症など、佐藤優氏のインテリジェンスを、池上彰氏が「通訳」として解説する対談集。昨年全世界を巻き込んだエボラ出血熱について、なぜ今まで欧米は真剣に取り組まなかったのか。ほかに慰安婦問題、ウクライナ問題にひそむもの等々、この世紀を生き抜く情報と知恵の使い方を伝授する。

今月のおすすめＡＶ

DVD『アルプスの少女 ハイジ 1～13』 (DV77/ア)　中央館所蔵
バンダイビジュアル株式会社

スイスの小説家、ヨハンナ・スピリの児童文学を、高畑勲＆宮崎駿のコンビで1974年にTVアニメ化した作品。アルプスの大自然に抱かれながら、少女・ハイジが周囲の人びとをしあわせへと導いていく。大自然の厳しさや美しさ、おじいさんが少しずつハイジに心を開いてゆく様子やハイジやクララの成長など、どの場面も瑞々しく描かれている。子どもだけではなく、大人にも感動的な作品に仕上がっており、見た後に心に灯がともるような作品である。

今月の本

こどものページ

『よい子への道　2』（K/726/オ）　　おかべ りか /文・絵

みなさんは、してもいいことと悪いことがわかりますか？この本には、よい子になるための秘密がたくさんあります。たとえば、留守番の時にしてはいけないことは、お風呂で寒天ゼリーをつくること・・・思わず笑ってしまうような内容が盛りだくさんの一冊です。

『十代のきみたちへ』（K/323/ヒ）　　日野原 重明/著

ニュースでよく取り上げられる憲法改正という言葉。日本国憲法を変えよう、という動きですが、実のところ、日本国憲法がどんなものかよく知らない大人も多いのです。日本国憲法って、どんなものなのでしょう。また、なぜ改正に賛成の人と反対の人がいるのでしょう。憲法について一緒に考えてみませんか。

『歌う樹の星』（K/913/カ）　　風野 潮/作

星間飛行が可能になってから百年あまり。樹木医の資格を持つ水希は、惑星・ランタナ星に赴任することになった。兄とともに基地へ向かう途中、二人は一人の少女を助ける。謎の男に追われていたようだが、彼女はどんな質問にも答えようとはしなかった。少女の正体とは一体？

こんにちは♪　大野分館です。

♪行事のお知らせ♪

2月の大野シネマ館は第1日曜！

●大野シネマ館　　大野ふれあいセンター2階　AV室
2月1日（日）14:00～　『危険な年』 主演：メル・ギブソン

●おはなし会「てぶくろ」　大野分館　おはなしのへや
2月14日（土）14:00～

●読みきかせの会　大野分館　おはなしのへや
2月21日（土）11:00～

●子ども映画会　　大野ふれあいセンター2階　AV室
2月28日（土）14:00～　『名作童話大全集　ピノキオ』（35分）

～次の雑誌リサイクル・図書館だよりの発行は，3月1日(日)予定です。～